

摂津工場 新固形製剤包装棟 完成のお知らせ

塩野義製薬株式会社(本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功)は、この度摂津工場(大阪府摂津市)に新たな固形製剤包装棟を建設し、本日竣工式を執り行いましたので、お知らせいたします。

摂津工場は、昭和 43 年(1968 年)春に経口固形製剤の主力工場としてスタートし、その後もバイアル注射製剤棟、試験棟、アンプル注射製剤棟を建設し、当社の中核工場として発展し、今年で操業 40 周年の節目を迎えました。これまでに培われた製剤技術に関する経験を活かすとともに最新の技術を導入し、今後増加する開発品及び新製品をグローバルに供給するため、米国 FDA が定めた cGMP* に準拠した設備として新しい固形製剤包装棟を建設いたしました。

医薬品開発におきましては、研究段階で創出された化合物を、効果的で安全にヒトの体内に吸収させるために高度な製剤技術が不可欠となってきております。本新棟は、最新技術を駆使し、錠剤・カプセル剤・顆粒細粒剤に加えて微粒子コーティングなどを用いた特殊な製剤に至るまで、多くの形態の医薬品に対応できるフレキシビリティを持つ製造設備を有しております。また、治験薬製造設備と商用生産設備を 1 棟に併設することでスムーズな工業化と技術移転を可能にするなど、候補化合物をクオリティの高い医薬品として、より迅速に開発し、生産することを実現してまいります。

当社では、摂津工場のみならず従業員全員が一丸となって、基本方針である「常に人々の健康を守るために必要な最も良い薬を提供する」ことの実現に向けて、日本国内はもちろん世界中の患者さんや医療関係の皆様へ、より大きく貢献できるよう、高度な品質の製品の提供に注力してまいります。

【ご参考】

cGMP (Current Good Manufacturing Practice) :

米国 FDA が規制する最新の製造管理および品質管理に関する基準。管理基準と構造設備基準のソフト・ハード両面から構成される。

【新固形製剤包装棟の概要】

所在地	大阪府摂津市三島2丁目5番1号
建物面積	4,007.37 m ²
延床面積	9,085.30 m ²
構造	鉄骨造
建物高さ	28.06m
建物階数	地上3階
総工費	約60億円
主要な生産品	国内および海外向けの固形製剤（治験薬、商用医薬品）
製造能力	錠剤5.5億錠/年、カプセル10億カプセル/年
起工	平成19年9月
竣工	平成20年11月
稼働開始	平成21年初頭予定
設計、建築施工	大成建設株式会社



[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報室

大阪 TEL : 06-6209-7885 FAX : 06-6229-9596

東京 TEL : 03-3406-8164 FAX : 03-3406-8099